

日付 : 2024/10/22

# CLUSTERPRO システム状況レポート

- [診断対象クラスタサーバ](#)
- [システム状況](#)
- [レポートの表記について](#)

システム状況診断結果
<p>🚨 2024/10/22 08:34 頃にモニタ genw が監視異常を検出し、グループ failover がサーバ server2 へフェイルオーバーを開始しました。</p> <p>事象発生時の CLUSTERPRO の <a href="#">状態遷移</a> 及び <a href="#">対処方法</a> については以下のレポートをご確認ください。</p> <p>なお、クラスタログ採取時点 (2024/10/22 08:41) では、グループ failover はサーバ server1 で起動していますが、モニタ genw は監視異常を検出しています。</p>

## 診断対象クラスタサーバ

クラスタ名		クラスタのコメント設定
cluster		
サーバ名	OS	CLUSTER
server1	Red Hat Enterprise Linux release 9.2 (Plow)	CLUSTERPRO X 5.2 for Linux (5.2.0-1)
server2	Red Hat Enterprise Linux release 9.2 (Plow)	CLUSTERPRO X 5.2 for Linux (5.2.0-1)

## システム状況

### クラスタシステムの現在の状況

状態表示日時 : 2024/10/22 08:41

クラスタシステムの現在の状況
<p>クラスタログ採取時点 (2024/10/22 08:41) では、グループ failover はサーバ server1 で起動していますが、モニタ genw は監視異常を検出しています。</p> <p>-----</p> <p><b>Cluster : cluster</b> cluster .....: <b>起動済</b></p> <p><b>Server:</b> server1 .....: <b>起動済</b> server2 .....: <b>起動済</b></p> <p><b>Group:</b> failover .....: <b>server1 で起動済</b>     exec .....: <b>起動済</b>     fip .....: <b>起動済</b></p> <p><b>Monitor:</b> arpw .....: <b>監視正常</b> diskw .....: <b>監視正常</b> ipw .....: <b>監視正常</b> miiw .....: <b>監視正常</b> pidw .....: <b>監視正常</b></p>

クラスタシステムの現在の状況	
genw .....	監視異常
userw .....	監視正常

異常発生時の状況

異常発生期間：2024/10/22 08:34 ～ 2024/10/22 08:37

異常発生時の状況
2024年10月22日08時34分、server1で監視genwに終了コード1が返されたため、エラーが検出されました。これにより、CLUSTERPROのサーバプロセスからグループ failover の再起動要求がありました。グループ failover の再起動が開始され、execリソース、fipリソースの停止が開始しました。execリソース、fipリソースの停止が完了し、グループ failoverの停止も完了しました。その後、execリソース、fipリソースが再び開始され、execリソース、fipリソースの活性化が完了し、グループ failover の活性化も完了しました。
08時35分08秒、再び監視genwでエラーが検出されました。リカバリ対象execの再起動回数閾値を超えたため、CLUSTERPROのサーバプロセスからグループfailoverのフェイルオーバー要求がありました。グループfailoverの停止が開始され、execリソース、fipリソースの停止を開始しました。execリソース、fipリソースの停止が完了し、グループ failoverの停止も完了しました。同時刻、server2でグループfailoverのフェイルオーバーが開始されました。グループ failoverの活性化が開始され、execリソース、fipリソースの活性化が進行しました。execリソース、fipリソースの活性化が完了し、グループfailoverの活性化も完了しました。グループfailoverのフェイルオーバーが完了しました。
08時36分10秒、server2で監視genwに終了コード1が返されたため、エラーが検出されました。これにより、CLUSTERPROのサーバプロセスからグループ failover の再起動要求がありました。グループ failover の再起動が開始され、execリソース、fipリソースの停止が開始しました。execリソース、fipリソースの停止が完了し、グループ failoverの停止も完了しました。その後、execリソース、fipリソースが再び開始され、execリソース、fipリソースの活性化が完了し、グループ failover の活性化も完了しました。
08時37分11秒、再び監視genwでエラーが検出されました。リカバリ対象execの再起動回数閾値を超えたため、CLUSTERPROのサーバプロセスからグループfailoverのフェイルオーバー要求がありました。グループfailoverの停止が開始され、execリソース、fipリソースの停止を開始しました。execリソース、fipリソースの停止が完了し、グループ failoverの停止も完了しました。同時刻、server1でグループfailoverのフェイルオーバーが開始されました。グループ failoverの活性化が開始され、execリソース、fipリソースの活性化が進行しました。execリソース、fipリソースの活性化が完了し、グループfailoverの活性化も完了しました。グループfailoverのフェイルオーバーが完了しました。

対処

モニタリソース genw の監視に失敗した原因は、genw から実行したスクリプトが 終了コード 1 を返したためです。スクリプトが不正な終了コードを返却した原因を確認してください。

OS 状況 サマリ

OS 状況取得日時：2024/10/22 08:34





top コマンド結果
top - 08:34:01 up 26 days, 19:22, 3 users, load average: 2.12, 1.67, 0.93 Tasks: 235 total, 3 running, 232 sleeping, 0 stopped, 0 zombie %Cpu(s): 90.0 us, 10.0 sy, 0.0 ni, 0.0 id, 0.0 wa, 0.0 hi, 0.0 si, 0.0 st MiB Mem : 1777.3 total, 956.7 free, 551.2 used, 456.7 buff/cache MiB Swap: 8192.0 total, 8192.0 free, 0.0 used. 1226.2 avail Mem

OS 状況
### システムの稼働時間とユーザー数 ### 2024年10月22日08時34分01秒時点で、システムは26日と19時間22分稼働しており、3人のユーザーがログインし

OS 状況
ています。
### ロードアベレージ ### ロードアベレージは、1分間平均が2.12、5分間平均が1.67、15分間平均が0.93となっており、システムの負荷が比較的高いことがわかります。
### タスクの状態 ### システム上で実行されているタスクは合計235個で、そのうち3個が実行中、232個がスリープ状態、停止中やゾンビ状態のタスクはありません。
### CPU使用率 ### CPU使用率は、ユーザープロセスが90.0%、システムプロセスが10.0%を占めており、アイドル状態のCPUは0.0%です。その他の項目（nice、I/O待ち、ハードウェア割り込み、ソフトウェア割り込み、ステール）はすべて0.0%です。
### メモリ使用状況 ### システムの物理メモリは合計1777.3 MiBで、そのうち956.7 MiBが空きメモリ、551.2 MiBが使用中、456.7 MiBがバッファ/キャッシュとして使用されています。
### スワップメモリの使用状況 ### スワップメモリは合計8192.0 MiBあり、全てが空きメモリで、使用されているスワップメモリはありません。利用可能なメモリは1226.2 MiBです。
### 総括 ### システムは長期間安定して稼働しており、現在の負荷は高めですが、メモリとスワップメモリには十分な余裕があります。CPUはほぼ全てユーザープロセスによって使用されており、システムプロセスの負荷は比較的少ないです。

## レポートの表記について

### 判定記号

記号	説明
	診断結果に問題はありません。
	診断結果に一部問題があります。
	診断結果に問題があります。
	補足情報があります。